

令和7年3月 28 日
参考資料
(県政、大和記者クラブ同時送付)

「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」(知事現場訪問) 小型 SAR 衛星を開発・製造する 株式会社 Synspective を知事が訪問しました

大和市内に製造工場を持つ株式会社 Synspective は、小型 SAR 衛星の小型化に取り組み、これまでに衛星6機の軌道投入に成功している宇宙関連ベンチャー企業です。

知事は、令和 7 年3月 28 日(金曜日)に同社の製造現場を視察するとともに、代表取締役CEOの新井氏と意見交換を行いました。

はじめに、株式会社 Synspective の新井CEOから、同社のこれまでの取組について、説明がありました。

その後、エンジニアリングオフィスを視察し、事業状況の説明とヤマトテクノロジーセンターの概要について、説明がありました。



続いて、小型 SAR 衛星の製造現場を視察しました。

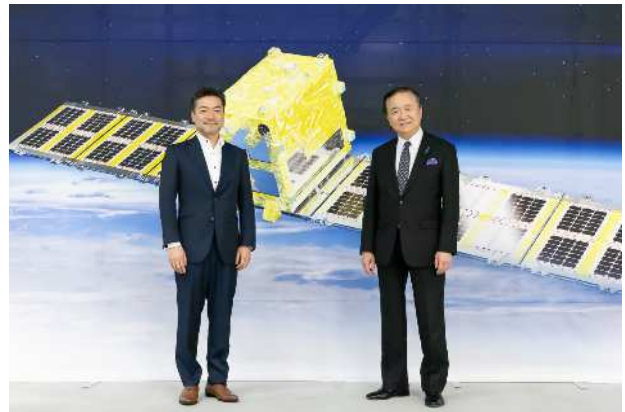


最後に、宇宙関連産業の今後の可能性について意見交換を行いました。

宇宙関連産業の将来性について改めて認識したとともに、本県の技術力の高さを実感しました。



県としても、引き続き、成長産業の創出や集積を図ってまいります。



【参考:SAR衛星について】

- ・“SAR”とは、“Synthetic Aperture Radar”の略語で、日本語では「合成開口レーダー」と呼ばれます。
- ・SAR 衛星は電波の一種であるマイクロ波を使って地表面を観測する衛星です。
- ・SAR 衛星は自らが雲を透過する波長の電波を照射し、地上からの反射波を観測するため、天候や時間帯に依存せず、高頻度でデータ取得が可能です。

株式会社Synspective

- ・所在地(本社):東京都江東区三好3-10-3
- ・設立:2018 年2月
- ・主な事業内容:SAR画像データ販売、衛星データを利用したソリューションサービス、小型SAR衛星の開発・運用

問合せ先

神奈川県産業労働局産業部産業振興課

課長	高橋	電話 045-210-5630
技術開発グループ	本田	電話 045-210-5640